

平成29年度予算主要事業

平成29年2月6日

荒川区

平成29年度予算主要事業

NO	事業名	予算額
1	治安ナンバーワンに向けた安全安心まちづくりの推進	8,891万円
	区内事業者・団体などの多くの眼による見守り活動の実施、安全・安心パトロールカーによる巡回、駐輪場における自転車盗への警戒態勢の強化などにより、犯罪が起きにくい環境を整備する。	
2	児童遊園等への防犯カメラの設置<新規>	3,662万円
	犯罪抑止を目的として、28年度までに設置が完了した区立公園に引き続き、児童遊園・広場等に防犯カメラの設置を拡大する。	
3	AEDの屋外設置の推進	710万円
	いつでも、誰でもAEDを使用できるよう、町会会館に屋外設置型AEDを整備するとともに、公共施設に設置しているAEDについても屋外化を進める。	
4	空き家対策の推進<新規>	1,820万円
	空き家にまつわる様々な問題について、建築・法律等の専門家による相談会を実施する。また、空き家を地域の活性化施設に改修する費用の一部を助成する。	
5	金属系粗大ごみの資源化<新規>	690万円
	「荒川区一般廃棄物処理基本計画」に掲げるリサイクル率25%の達成を目指し、金属系粗大ごみを民間施設に搬入・資源化し、中間処理施設への搬入量の削減を図る。	
6	新たな公園等の整備	1億9,945万円
	宮前公園の整備を東京都の隅田川スーパー堤防整備事業にあわせて進める。また、木造住宅密集地域の改善を目指し、地域内にある児童遊園の拡張整備等を行う。	
7	区内企業の後継者育成・事業承継の総合的な支援【一部再掲】	1,174万円
	経営者の高齢化や少子化による人手不足の中、将来にわたり地域の活力を維持していくために、後継者を育成し、区内事業者の次世代への事業承継を総合的に支援する。	
8	魅力あふれる個店づくりの支援<新規>	315万円
	意欲ある個店の魅力向上を図り、魅力ある個店間のネットワークづくりを推進する。また、連携から創出される新たなアイデアや取り組みを支援し、商店街及び区内商業活動の振興を図る。	
9	(仮称)日暮里地域活性化施設の整備	4億2,539万円
	ポテンシャルが高く、魅力あふれる日暮里地域の新たなシンボルとして、地域コミュニティや地域経済のさらなる活性化に資する施設を整備する。	
10	全国連携プロジェクトの推進	3,150万円
	連携自治体の産業振興に寄与しつつ、区内の賑わいを高める事業を展開するとともに、区民が連携自治体を訪れる機会を拡大し、住民同士の交流をさらに深め、区と全国の自治体がWIN-WINの関係を構築する。	

NO	事業名	予算額
11	製造事業者等の販路開拓支援の強化	1,650万円
	機械要素・加工技術を集めた展示会への共同出展を拡充し、企業間取引(BtoB)における販路開拓をさらに支援し、「モノづくりの街あらかわ」を広くPRする。また、「荒川区産業展」を消費者向け製品の展示・販売(BtoC)の場とすることで、新たな販路開拓を支援する。	
12	区内企業の人材確保支援の充実<新規>	670万円
	区内中小企業における若手後継人材等の求人ニーズに対応するため、人材確保コーディネーターを新たに配置し、専門ハローワーク等と連携した人材確保支援を実施する。	
13	子育て女性のキャリアアップ講座の充実	504万円
	「子育て女性のキャリアアップ講座」について、より多くの受講機会を提供するため、年4回から年5回実施に拡大する。実施回数拡大に伴い、ひとり親家庭など再就職に困難を抱える方の受講を一層推進し、再就職を支援する。	
14	今からできる健康づくり習慣	1,143万円
	早世予防、健康寿命の延伸のため、野菜を食べることの大切さやベジ・ファースト、ロコモティブシンドロームにかかる普及啓発を図るとともに、あらかわ満点メニューの充実を図る。また、地域でできるウォーキングを取り入れた、継続的かつ効果的な健康づくりの仕組みを醸成する。	
15	区民による介護予防活動へのさらなる支援	366万円
	認知症が疑われる方や診断された方及びご家族が気軽に利用できる医療機関連携型認知症カフェへの支援を行う。また、住民主体で実施している「ふれあい絆活サロン」について、増設を促すため、会場費等を助成し、地域の支えあい体制づくりを推進する。	
16	障がい者グループホーム等施設整備費補助制度の創設<新規>	4,341万円
	区内に居住する障がい者の地域生活を支援するため、障がい者グループホーム等を新たに建設する費用の一部を補助し、施設の円滑な設置及び運営の安定を図るとともに、障がい者の生活の場を確保する。	
17	高齢者住宅改修助成の拡充	3,526万円
	高齢者に住み慣れた地域でより長く安心して暮らし続けられるよう、住宅改修の助成内容を充実する。これにより、介護が必要な方の在宅生活を支援するとともに、自立した方の介護予防を促進する。	
18	胃の内視鏡検診導入等によるがん検診の充実	3億810万円
	区内医療機関で実施する胃がん内視鏡検診を導入し、胃がん検診の精度を向上する。がんに対する正しい知識の普及啓発と検診機会の拡大等により受診率の向上を図るとともに、精密検診対象者の未受診フォローを強化し、がんによる早世を減らす。	
19	宿泊型産後ケアの実施<新規>	1,613万円
	出産後、家族等からの援助を受けることが困難な初産婦及び乳児が、24時間体制で助産師等による育児支援や心身ケアを利用できる宿泊型の産後ケアを実施することで、初めての育児に対する不安や心身の負担軽減を図る。	
20	待機児童解消に向けた保育定員のさらなる拡大	17億2,312万円
	国家戦略特区の規制緩和を活用した都市公園内への保育所整備や区有地、賃貸物件を活用した保育所整備など、あらゆる方法を用いて保育定員の拡大を図り、待機児童の解消に向けた取り組みを継続する。	

NO	事業名	予算額
21	<p>新たな荒川方式の奨学金で保育士を強かにサポート<新規></p> <p>区内私立保育園等に保育士として5年間継続して勤務することを要件とした奨学金制度を創設し、保育士を目指す方を支援するとともに、保育士の人材確保及び定着を図る。</p>	1,690万円
22	<p>荒川遊園リニューアル<新規></p> <p>東京23区唯一の区立遊園地である荒川遊園をリニューアルするための計画づくりに着手する。</p>	7,017万円
23	<p>区立児童相談所設置に向けた取り組みの推進<新規></p> <p>区が児童相談所を設置し、児童相談行政の充実を図る。29年度は施設整備に係る基本設計等を行うほか、専門人材の確保・育成に加え、地域や関係機関及び東京都との連携体制を確保した上で、32年度の開設を目指す。</p>	2,938万円
24	<p>「俳句のまち あらかわ」推進プロジェクト</p> <p>子どもから大人まで俳句文化の裾野を広げ、豊かな心を育むため、俳句に触れることができる機会を増やすとともに、様々な方法で「俳句のまち あらかわ」を区内外へ発信し、観光客の誘致を図る。</p>	2,136万円
25	<p>オリンピック・パラリンピックに向けた気運の醸成</p> <p>障がい者スポーツへの理解を深めるイベントの開催、文化プログラムの実施、区立幼稚園・小中学校におけるオリンピック・パラリンピック教育を通して、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて気運を高め、より一層のスポーツ振興、文化振興を図る。</p>	3,004万円
26	<p>タブレットPCを活用した「あらかわ・スマート・スタディ」の実践</p> <p>区立の全小中学校で児童・生徒が、タブレットPCを活用し最新のデジタル教材で学習できる環境を生かし、学力向上を図る。</p>	1,216万円

事業名 治安ナンバーワンに向けた安全安心まちづくりの推進

予算額 8,891万円

【PRポイント】

- まちを見守る防犯カメラ網の構築
犯罪発生状況を分析し、バランス良く配置
- 拡げよう、区民による防犯活動の輪
「見守り活動隊」を創設
- 撃退！！自転車どろぼう
安全・安心パトロールカーを増車し、警戒を強化

【これまでの取組、成果】

- 犯罪認知件数が2,000件を下回る！！

平成16年 3,593件 **44%減** 平成28年 1,999件

- 全区立公園に防犯カメラを設置した結果、公園等における犯罪が大幅に減少！！

平成27年 37件 **26件減** 平成28年 11件

- 防犯カメラの整備を積極的に進めてきました。

防犯カメラ設置箇所	台数
公共施設（保育園、図書館など）	567台
街頭（駅前、幹線道路、通学路など）	186台
公園など	83台
町会・商店街による設置	291台
合計	1,127台

治安ナンバーワンを目指し、安全安心まちづくりをさらに推進します。

【効果】

- 犯罪の発生状況などの分析に基づく効果的な防犯カメラ網を構築することで、犯罪のない安全安心なまちづくりが進みます。
- 「見守り活動隊」を新たに創設することで、「我が街の安全は、自らの手で守ろう」という機運が高まり、区民による防犯活動の輪が広がります。
- 安全安心パトロールカーを増車し、自転車盗をはじめとする犯罪への警戒態勢を強化することで、抑止効果が高まります。

【問合せ先】 区民生活部 生活安全課長 諸角 明彦 内線493

事業名 児童遊園等への防犯カメラの設置<新規>

予算額 3,662万円

【PRポイント】

- 全区立公園への防犯カメラは設置完了
- 全児童遊園、広場等にも設置を拡大

【目的・内容】

犯罪抑止を目的として、28年度までに全区立公園に設置し、さらに全児童遊園・広場等に拡大します。

公園・児童遊園等への防犯カメラ設置数

28年度末設置数 区立公園等	29年度設置予定		29年度末設置数 全区立公園、 児童遊園、広場等
	児童遊園	広場等	
39か所 83台	70か所 91台	5か所 14台	114か所 188台

【効果】

- 犯罪を未然に防ぐ効果が期待でき、子どもから高齢者まで、安心して児童遊園や広場等を利用できるようになります。
- 公園だけでなく、児童遊園や広場等にも防犯カメラを設置することで、さらに安全で安心な地域社会の実現を図ることができます。
- 夜間騒音等の迷惑行為防止につながり、周辺の居住環境が向上します。

【問合せ先】 防災都市づくり部 道路公園課長 大木 浩 内線2730

事業名 AEDの屋外設置の推進

予算額 710万円

【PRポイント】

- いつでも、誰でも使える屋外設置型AEDを増設
- 29年度は、町会会館に設置

【目的・内容】

施設の利用時間に縛られず、誰でもAEDを使用できるよう、町会会館に屋外設置型AEDを整備するとともに、公共施設に設置しているAEDについても、順次、屋外化を進めます。

24時間対応AED数（区設置）

既設	新設	計
38	81	119

【効果】

- AEDを屋外に設置することで24時間の使用が可能となり、地域住民や荒川区内で働く方が日頃から設置場所を確認できるため、万が一の際には迅速で的確な使用が図れます。
- 今後、消防署等とも協力して救命講習を充実させ、AEDを操作できる方を増やすことで、救命率の向上が期待できます。

【問合せ先】 区民生活部 防災課長 中原 毅 内線491

事業名 空き家対策の推進<新規>

予算額 1, 820万円

【PRポイント】

- 空き家にまつわるお悩み、うけたまわります
建築、法律等の専門家による相談会の実施
- その空き家、地域の役に立ててみませんか？
空き家改修費補助事業の創設
- 地域を悩ます危険な空き家への取り組みを強化します
強制的な除却など、実効性のある対策を推進

【目的・内容】

防災、防犯、衛生、景観といった様々な面から、区民に不安と悪影響を及ぼしている空き家問題の解決に向けて、老朽空き家に対する除却への100%助成などの支援事業や、空き家実態調査を行ってきました。

今後は、空家等対策計画及び空家等対策の推進に関する条例に基づき、空き家の利活用を含めた総合的かつ計画的な対策を進めます。

【効果】

- 空き家所有者等の悩みに対し、専門家が直接相談に応じることで、空き家問題の解決につながります。
- 空き家を地域の活性化に資する施設として改修する費用を補助することで、良質な空き家の活用が進みます。
- 危険な老朽空き家に対して、行政代執行といった強制力を伴った措置を含め、より実効性のある除却への取り組みが着実に進みます。

【問合せ先】 防災都市づくり部 防災街づくり推進課長 村山 洋典 内線2820

事業名 金属系粗大ごみの資源化<新規>

予算額

690万円

【PRポイント】

- 粗大ごみの中から、自転車・パイプベッドなど金属系のも
のを選別・回収し、リサイクル率を向上
- 民間施設への搬入・資源化により、中間処理施設への搬入
量を削減
- 資源化処理を通じて、資源売却益を確保

【目的・内容】

金属系粗大ごみを資源化することにより、「荒川区一般廃棄物処理基本計画」
に掲げるリサイクル率25%の達成を目指します。

【効果】

- 金属類を主とした選別・回収の実施により、リサイクル率を粗大ごみ量の
45%程度まで、ごみ排出量全体としても2%程度向上させることができ
ます。
- 中間処理施設への搬入量を削減することにより、最終処分場の延命化に繋
げることができます。また、東京二十三区清掃一部事務組合への分担金の
削減も期待できます。
- 民間施設に搬入した金属類はすべて売却できるため、処理委託料の3分の
2程度の資源売却益（歳入）が見込めます。

【問合せ先】 環境清掃部 荒川清掃事務所長 伊藤 勝弘 内線472

事業名 新たな公園等の整備

予算額 1億9,945万円

【PRポイント】

- テニスコートや図書館、保育園を備えた、幅広い世代がさまざまに楽しめる宮前公園を整備
- 防火水槽、災害用飲料水タンクなどを備えた、災害時に頼りになる公園としても整備

【目的・内容】

「荒川区花と緑の基本計画」において整備目標としている55.2haの公園等面積を確保するため、積極的に公園を整備していくとともに、花と緑の充実を図っていきます。

- ①区立公園として最大級の規模になる尾久地域の宮前公園第一期整備区域の整備に着手
- ②東尾久五丁目南児童遊園の拡張整備によりオープンスペースを拡大

【効果】

- 通常の公園利用者に加えて、文化やスポーツを楽しむ方々など、幅広い世代に愛される公園となります。
- 区民の生活に潤いと安らぎをもたらすとともに、災害時における避難場所や延焼防止等、街の防災性の向上に寄与します。

【問合せ先】 防災都市づくり部 道路公園課長 大木 浩 内線2730

事業名 区内企業の後継者育成・事業承継の総合的な支援【一部再掲】

予算額 1, 174万円

【PRポイント】

- 地域の活力を維持するため、区内事業者の事業承継を総合的に支援
- 事業者の個々の実情に即したきめ細やかな支援

【目的・内容】

全国で中小事業者の廃業が増加するなか、経営者個人や親族等で信用保証を担っている小規模事業者が大半を占める区内事業者の経営実態を踏まえ、次世代への円滑な事業承継を実現するため、様々な支援を実施します。

- MACCプロジェクトの「あすめし会」等による後継（予定）者の育成
- 人材確保コーディネータによるハローワークと連携した若手人材（将来の後継人材）の確保
- あらかわ経営塾、設備投資等にかかる補助金の事業承継特例や事業承継支援融資等による企業の経営基盤の強化
- 円滑な廃業に向けた支援

【効果】

- 若手経営者の会である「あすめし会」等の活動への支援をはじめ、MACCプロジェクトの推進により、後継者の育成が図られます。
- ハローワークと連携した就職マッチング支援により、企業への若手人材が確保されます。
- 魅力ある店舗づくりに取り組む事業者のネットワークを構築することで、経営課題の解決、後継者の育成が図られます。
- 経営革新計画の策定や設備投資等を支援することで、経営基盤が強化されます。
- ワンストップ相談窓口や専門家派遣により、迅速な課題解決が図れます。

【問合せ先】 産業経済部 経営支援課長 陣内 恵子 内線455

事業名 魅力あふれる個店づくりの支援<新規>

予算額

315万円

【PRポイント】

- 個店の魅力向上のため、専属コーディネーターを配置し、個店間のネットワークづくりを推進
- ネットワークから創出される新たなアイデアや取り組みを支援

【目的・内容】

現在、区内の商店数は経済環境の変化や後継者不足により減少傾向をたどっており、個店単独でお店を発展的に存続させていくことに限界のある商店が増えています。

そこで、顧客との会話や接客を通じて自店の魅力をPRできるという、個店ならではの特色を引き出すため、専属のコーディネーターを配置し、意欲ある個店の魅力向上を図るとともに、魅力ある個店間のネットワークづくりを推進し、商店街及び区内商業活動の振興を図ります。

【効果】

- 専門的な知識を有するコーディネーターが、意欲ある個店の経営課題等へのアドバイスや支援メニューの紹介などを行うことにより、経営の安定や後継者の育成、店舗の魅力向上が図られます。
- 魅力ある個店間のネットワークづくりを推進することにより、商店間の新たな取引の展開や商品・サービス等の拡充が図られ、区内の商業活動の活性化が期待できます。
- 魅力ある個店間の連携から創出される新たなアイデアや取り組みを支援することにより、個店の効果的なPRや集客を図り、区内商店街及び地域の活性化に繋がります。

【問合せ先】 産業経済部 産業振興課長 丹 雅敏 内線445

事業名 (仮称) 日暮里地域活性化施設の整備

予算額 4億2,539万円

【PRポイント】

- 日暮里に新たなランドマークが誕生！
- 区民事務所機能と繊維街を核とした地域経済の活性化に資する機能が融合し、日暮里がもっと元気に
- 北から南まで、全国の名産品が日暮里に集まる！

【目的・内容】

都心や空港へのアクセスも良く、魅力あふれる日暮里地域の新たなシンボルとして、日暮里区民事務所跡地に、区民事務所機能に加え、繊維街を核とした地域経済や地域コミュニティのさらなる活性化に資する施設を整備します。

【効果】

- 繊維街を訪れた方々が気軽に立ち寄り、地域の方々から愛される賑わいの絶えない、温かいコミュニティの場が整備されます。
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、増加が想定される外国人を含めた日暮里駅の利用者を街へ誘導し、施設を拠点とした地域の回遊性が高まります。
- 政策連携で絆を深めた自治体によるブース出展やイベント等により、住民同士や民間ベースの幅広い交流が推進されます。

【プロポーザル提案時の施設イメージ】



【問合せ先】 総務企画部 企画担当課長 上田 望 内線2140

事業名 全国連携プロジェクトの推進

予算額 3, 150万円

【PRポイント】

- 感じてみよう・体験しよう日本の素晴らしさ

日暮里駅前で旬の味覚市、あらかわ遊園で秋田竿燈まつり
区民ツアー、中学校ワールドスクール等で区民が各地を訪問

- みんなの知恵を出し合って

幸せリーグ総会や、荒川区職員ビジネスカレッジ（ABC）
でみんなで学び合い、互いに発展・成長

【目的・内容】

東京を含む全国各地域が強い信頼関係のもと、ともに発展・成長しながら共存・共栄を図るため、それぞれの地域産業の振興や交流の促進を進めます。

全国の各地域と産業、観光、文化、スポーツ等の様々な連携を通じて、全国の自治体とWIN-WINの関係を推進します。

【効果】

- 連携自治体による物販等を区内で実施することで、区内の賑わいを創出するとともに、連携自治体のPRと地域産業の振興に寄与します。
- 子どもたちや区民が連携自治体を訪問する機会や民間ベースの交流を増やすことで、民間主体の連携が進みます。
- 幸せリーグ総会等による相互の地域課題への研究により、ともに発展・成長し、より多くの自治体とともに、生き生きとしたまちづくりが可能となります。

【問合せ先】 総務企画部 全国連携担当課長 大森 重紀 内線2190

事業名 製造事業者等の販路開拓支援の強化

予算額 1,650万円

【PRポイント】

- 日本最大級の専門展示会「機械要素技術展」で「モノづくりの街あらかわ」を広くPR
- 「荒川区産業展」をBtoCへシフトし、新たな販路開拓を支援

【目的・内容】

製造事業者の企業間取引（BtoB）における販路開拓を支援するため、日本最大級の専門展示会への出展を拡充します。また、「荒川区産業展」を消費者向け製品の展示・販売（BtoC）の場として見直し、開催会場を駅前に変更するなどして、区内外から幅広い来場者を招きます。

【効果】

- 国内外から受発注を求めて多数の企業が来場する日本最大級の専門展示会に、より多くの製造事業者とともに共同出展することで、販路開拓や区内産業に関するPRの強化が図れます。
 - ・ 28年度に開催された「第20回 機械要素技術展」の概要
会期：平成28年6月22日(水)～24日(金)
会場：東京ビッグサイト
出展社数：2,318社 来場者数：87,285名
- 「荒川区産業展」を消費者向け製品の展示・販売の場として開催方法を見直し、消費者ニーズの把握や自社ブランディングの機会とすることで、優れた製品の開発や販路開拓が図れます。

【問合せ先】 産業経済部 経営支援課長 陣内 恵子 内線455

事業名 区内企業の人材確保支援の充実<新規>

予算額

670万円

【PRポイント】

- 新たに配置する2名の専属コーディネーターがハローワーク等と連携し人材確保を支援
- 募集から人材採用・定着に至るまで一貫したコンサルティングを実施

【目的・内容】

区内におけるモノづくり企業などの若手後継人材等の確保を図ることを目的として、募集から人材の採用・定着に至るまでのアドバイスやコンサルティングを行う人材確保支援を実施します。

【効果】

- 若手後継人材等の採用に悩む中小企業の求人ニーズに応じて、募集時から人材採用に至るまで人材確保コーディネーターが的確な人材の採用に向けて支援が行えます。
- 求人内容や労働条件の確認、求人票の作成支援など、採用に向けたきめ細かなアドバイスが行えます。
- 募集に向けて、企業風土や製品・現場を理解してもらうためのPRシートの作成や事前の企業見学会・就職面接会も、必要に応じ企画します。
- 採用後も定期的に訪問し、定着状況の確認やアドバイスを行います。

【問合せ先】 産業経済部 就労支援課長 前田 徳英 内線465

事業名 子育て女性のキャリアアップ講座の充実

予算額

504万円

【PRポイント】

- 実施回数を拡大し、より多くの受講機会を提供
- ひとり親家庭など再就職に困難を抱える方などの幅広いニーズに応え、早期再就職を支援

【目的・内容】

より多くの受講機会を提供し、ひとり親家庭など再就職に困難を抱える方の受講を推進するため、子育て女性を対象に実施しているパソコンの基礎講習とマザーズハローワーク講習等をセットにした、1回7日間・託児付きの「子育て女性のキャリアアップ講座」の実施回数を拡大します。

【効果】

- 「子育て女性のキャリアアップ講座」の実施回数の拡大に伴い、働くことを希望する子育て女性等の受講機会が広がります。
- 実施回数の拡大に伴い、ひとり親家庭など再就職に困難を抱える方が、希望に沿った日程で受講や再就職支援が受けられます。

【問合せ先】 産業経済部 就労支援課長 前田 徳英 内線465

事業名 今からできる健康づくり習慣

予算額 1, 143万円

【PRポイント】

- 1日350g以上の野菜とベジ・ファーストで糖尿病対策
- 若い今からのロコモティブシンドローム（運動器症候群）予防で要介護、寝たきりになるリスクを軽減
- あらかわ健康ウォーキングマップを活用し、指導員養成講習会や出張ウォーキング教室などを充実
- あらかわ満点メニューに、新たに「塩分控えめ」「野菜たっぷり」等のカテゴリーや「小盛り対応」を表示

【目的・内容】

健康な区民や、糖尿病予備群の区民に対し、野菜を食べることの大切さやロコモティブシンドロームに係る普及啓発を行い、あらゆる生活習慣病のもととなる糖尿病対策を実施するとともに、地域の中で身近にできるウォーキングを取り入れた健康づくりを継続する仕組みを醸成します。

また、あらかわ満点メニューをさらに充実し、食環境整備を進めます。

【効果】

- 野菜を摂取することにより、食後の高血糖が抑えられ、高血糖状態による血管の損傷を防ぐことから、糖尿病等の生活習慣病予防に効果的な対策が図れます。
- ロコモティブシンドローム予防の重要性が認知されることにより、区民が運動機能低下を予防する生活習慣を実践する契機になります。
- 地域の中で楽しく効果的に健康づくりを継続することにより、生活習慣病を予防するだけでなく、ウォーキングを通じた地域コミュニティの活性化が図れます。
- あらかわ満点メニューに多様なカテゴリーを設けることにより、幅広い年齢層の利用者のニーズに対応し、さらなる食環境整備が図れます。

【問合せ先】 健康部 健康推進課長 後藤 真理子 内線429

事業名 区民による介護予防活動へのさらなる支援

予算額 366万円

【PRポイント】

- 地域の介護予防や健康づくりの場である「ふれあい粋・活サロン」の活動を支援
- 認知症について、より専門的な相談ができる医療機関連携型の「認知症カフェ」の運営を支援

【目的・内容】

高齢者が健康で自立した生活を送るために、介護予防事業の重要性がますます高まっています。

既に区内で行われている区民による健康づくりや介護予防活動をはじめ、多様な主体による介護予防の取り組みを支援し、地域での自主的な取り組みを促進します。

【効果】

- 身近に通所できるふれあい粋・活サロンでの体操や健康ミニ講座は、介護予防の意識付けを図り、将来の介護需要を減少させます。
- 区内で開催されているサロンを増やすとともに、サロンの利用者を増やすことにより、地域での交流を通じて、社会からの孤立化、閉じこもりの予防が期待できます。
- 医療機関連携型認知症カフェでは、医療従事者による認知症への対応についての専門的な相談や介護などの情報を受けることができます。
- カフェの運営を通じて、地域の区民の参画を促進するとともに、人材を発掘し、新たな担い手の育成が図れます。

【問合せ先】 福祉部 高齢者福祉課長 谷井 千絵 内線2660

事業名 障がい者グループホーム等施設整備費補助制度の創設<新規>

予算額 4,341万円

【PRポイント】

- 障がい者グループホーム等を新設する民間事業者に対し、設置に係る費用の一部を補助
- 補助制度の創設により、障がい者グループホーム等を設置・運営する法人の財政的負担を軽減し、施設の安定した運営を実現
- 地域生活の場が増え、障がい者が自分にあった暮らしを続けることが可能に

【目的・内容】

区内に居住する障がい者の地域生活を支援するため、障がい者グループホーム等を新たに整備する費用の一部を補助し、施設の円滑な設置及び運営の安定を図り、障がい者の生活の場を確保します。

【効果】

- 補助制度の創設により、民間事業者による障がい者グループホーム等の設置の促進及び安定した運営が期待できます。
- 障がい者の生活の場が増えることで、障がい者が自分に合った住まいを選択し、必要な支援を受けて地域で暮らすことができ、親なき後も住み慣れた地域で安心して生活続けることができます。

【問合せ先】 福祉部 障害者福祉課長 小堀 明美 内線2680

事業名 高齢者住宅改修助成の拡充

予算額 3, 526万円

【PRポイント】

- 主たる生活スペースを集約するために必要な住宅改修費用を助成し、転倒リスクや負担を軽減
- 要介護等認定申請がなくても、少額な手すりを取り付ける場合の費用も助成

【目的・内容】

在宅生活での利便性を向上させ、より長く住み慣れた地域で暮らしていただくため、要介護（支援）認定者に介護保険支給対象外住宅改修の助成を行うとともに、自立した高齢者の方に必要な住宅改修費を助成します。

【効果】

- 生活スペースを集約することにより、自宅内での昇降や移動の負担、転倒などを減らし、住み慣れた家で安心して長く生活することができるようになります。
- 要介護等認定になる前の自立した高齢者であっても、必要な手すりを取り付けることで、日々の生活を安全に過ごすための手助けとなり、転倒等によって要介護状態となるリスクを軽減できます。

【問合せ先】 福祉部 介護保険課長 古瀬 秀幸 内線2430

事業名 胃の内視鏡検診導入等によるがん検診の充実

予算額 3億810万円

【PRポイント】

- 新たに胃がん内視鏡検診を導入
- 子育て・働き盛り世代への受診機会の拡大を図るため、女性のがん検診の検診日・検診時間を拡充
- 「がん予防出前授業」の実施校を拡大

【目的・内容】

区内医療機関で実施する胃がん内視鏡検診の導入や検診機会の拡大、がんに対する正しい知識の普及啓発等により、受診率の向上を図るとともに、精密検診対象者の未受診フォローを強化し、がんによる早世を減らします。

【効果】

- 内視鏡による検診を導入することにより、胃がん検診の精度が向上します。
- 女性が受診しやすい環境を整備することにより、がん検診の受診率や精密検査の受診率の向上が図れます。また、乳がん検診の機器を最新の機種に更新することにより、受診者の負担が軽減されます。
- 「がん」という病気やその治療に対して正しい理解を深め、子どもの頃から正しい生活習慣を身につけることで、将来的ながんの予防につながります。

【問合せ先】 健康部 保健予防課長 関 なおみ 内線435

事業名 宿泊型産後ケアの実施<新規>

予算額 1,613万円

【PRポイント】

- 家族等からの援助が受けられない母子に、宿泊型の産後ケアを提供
- 適切な育児指導・支援により育児不安を軽減

【目的・内容】

産後は母体の回復期であるとともに、赤ちゃんとともに過ごす生活に慣れるための期間であり、様々な援助が必要です。

初めての出産で産後に家族等からの援助が受けられない生後4か月までの母子を対象に、区内の医療機関等において3泊4日を限度とする宿泊型産後ケアを実施することで、母親に休養の機会を提供し、助産師等による育児指導・支援により心身のケアを図ります。

利用にあたっては、区が利用料の8割を負担します。

【効果】

- 24時間体制で支援が受けられ、安心して休養できます。
- 助産師等から育児指導を受けることで、育児に対する不安の軽減につながり、児童虐待の未然防止が図れます。

【問合せ先】 子育て支援部 子育て支援課長 伊藤 節子 内線3810

事業名 待機児童解消に向けた保育定員のさらなる拡大

予算額 17億2,312万円

【PRポイント】

- 29年度に私立認可保育園5園、認証保育所1園、30年度に私立認可保育園2園を開設し、500人超の定員拡大
- 国家戦略特区の規制緩和や国有地の活用など、多様な手法で新たな保育園を整備

【目的・内容】



区では増大する保育需要に対応するため、10年間で2,000人以上の保育定員を拡大しました。今後もさらなる需要の拡大が見込まれるため、全国初の国家戦略特区の規制緩和を活用した都市公園内への保育園整備や国有地の活用など、平成30年4月までに517人の保育定員を拡大します。

【効果】

- 国家戦略特区の規制緩和を活用した都市公園内への保育所整備や国有地、賃貸物件を活用した保育所整備など、あらゆる方法を用いて保育定員の拡大を図ることにより、待機児童の解消につながります。

【問合せ先】 子育て支援部 保育課長 小林 弘幸 内線3820

事業名 新たな荒川方式の奨学金で保育士を強力にサポート<新規>

予算額 1,690万円

【PRポイント】

- 保育士を目指す方へ入学金等相当分を貸付
区内私立保育園等に5年間勤務した場合は全額返済免除
- 奨学金等を利用し、保育士となった方が区内私立保育園等に勤務する場合、採用後5年間は区が返済額相当分を補助することで、返済負担実質ゼロ
- ひとり親家庭等の場合は、さらに補助額を増額

【目的・内容】

保育士を目指す方に、保育士養成施設の入学手続き時に必要な入学金等を50万円を上限として貸し付け、進学を支援します。卒業後は区内の私立保育園等で5年間継続して勤務することを条件に、返済を免除します。

また、区内の私立保育園等で勤務する保育士に対し、採用後5年間の奨学金の返済を毎年20万円まで補助します。

さらに、ひとり親家庭等の場合には、補助額を30万円に拡大します。

【効果】

- 新たな保育園等の開設や保育定員拡大のために必要な保育士を確保できます。
- 意欲ある保育士が安心して働くことができます。また、経験を積んだ保育士の離職を防止します。

【問合せ先】 子育て支援部 子育て支援課長 伊藤 節子 内線3810

事業名 荒川遊園リニューアル<新規>

予算額 7,017万円

【PRポイント】

- 東京23区唯一の区立遊園地である荒川遊園をリニューアル
- 開園70周年にあわせ平成32年オープン予定
- ハード面のリニューアルにあわせ、多様な区民ニーズに応えるソフト面の魅力アップも図ります。

【目的・内容】

荒川遊園のさらなる魅力向上のため、リニューアルのための基本計画・設計に着手するとともに、解体する観覧車ゴンドラの活用や子どもたちの参加型イベントなど、魅力アップに向けた検討を行います。

- 29年度 ・リニューアル基本計画・設計着手
・豆汽車解体修繕
- 30年度 ・観覧車及びメリーゴーランド入れ替え工事（～31年度）
- 31年度 ・新観覧車及び新メリーゴーランド稼働開始
・C地区工事完了
- 32年度 ・しばふ広場等工事完了

【効果】

- 大型遊戯施設の新機種との入れ替えや、広場の改修等により、荒川遊園の魅力がさらに向上します。
- 開園70周年に合わせたリニューアルとすることで、PR効果を最大限に発揮し、来園者の一層の増加を図ります。
- 解体する観覧車ゴンドラの活用や、地域の方々や子どもたちの参加型イベントの開催により、荒川遊園に対する地域の愛着がより深まります。

【問合せ先】 子育て支援部 荒川遊園課長 山下 英男 内線469

事業名 区立児童相談所設置に向けた取り組みの推進<新規>

予算額 2,938万円

【PRポイント】

- 区立児童相談所の設計に着手
- 子ども家庭支援センター機能と連携し、迅速で切れ目ない支援を提供

【目的・内容】

児童福祉法の改正を受け、区が児童相談所を設置することで、児童相談行政の充実を図ります。29年度は施設の基本設計を行うほか、専門人材の確保・育成に加え、地域や関係機関及び東京都との連携体制を確保した上で、32年度の設置を目指します。

【効果】

- 児童に関する相談・支援窓口が一元化されるとともに、区が中心となって法的権限に基づいた専門性の高い支援を行うことで、児童虐待の未然防止から地域での見守りまで、切れ目ない一貫した支援が可能となります。
- 子ども家庭支援センター機能との連携を図ることにより、効率的・効果的な執行体制が構築できます。
- 地域の関係機関とのきめ細やかな連携と、区が持つ子どもに関する様々な情報を活用することで、子どもへの迅速かつ適切な対応ができます。

【問合せ先】 子育て支援部 児童相談所移管準備担当課長 大森 重紀 内線2190

事業名 「俳句のまち あらかわ」推進プロジェクト

予算額 2, 136万円

【PRポイント】

- 子どもから大人まで俳句を楽しめる
「俳句のまち あらかわ」
- 荒川区で一句詠もう！フォト俳句コンテスト

【目的・内容】

子どもから大人まで俳句文化の裾野を広げ、豊かな心を育むため、俳句に触れることができる機会を増やします。また、「俳句のまち あらかわ」を区内外へ強く発信するため、フォト俳句コンテストなど様々な方法でPRを行い、賑わいの創出を図ります。

【実施事業】

- 俳句のまちのPR：ラッピング都電の運行、コツ通り街路灯への俳句のまちPR旗の設置、PRグッズの購入・配布、奥の細道サミット加入、他自治体イベントへのブース出店によるPR等
- 裾野を広げる：子ども俳句相撲大会の開催、投句事業の実施、俳句ハイク・俳句教室の開催、俳句タイル等の設置、俳句資料の収集、国際俳句振興会議の開催
- 賑わいの創出：都電俳句会の開催、俳句のまちあらかわ商品開発支援、まちあるきツアーの開催、芭蕉の大橋渡りイベントの開催、フォト俳句コンテストの実施



〈松尾芭蕉像〉



〈西川区長（左）と日EU俳句交流大使
ヘルマン・ファン・ロンパイ氏（右）〉

【問合せ先】 地域文化スポーツ部 文化交流推進課長 佐藤 泰祥 内線2520

事業名 オリンピック・パラリンピックに向けた気運の醸成

予算額 3,004万円

【PRポイント】

- スポーツ・文化プログラムに参加して、オリンピック・パラリンピックを盛り上げよう！
- 知る！学ぶ！体験する！障がい者スポーツ

【目的・内容】

ウォーキングの普及など、子どもから大人まで、誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を整備するとともに、才能あるジュニアアスリートへの支援を強化します。

また、障がい者スポーツへの理解を深めるイベントの開催、青少年のスポーツ活動の奨励促進、文化プログラムの実施、区立幼稚園・小中学校でのオリンピック・パラリンピック教育の推進などにより、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて気運を高めます。

【効果】

- スポーツ実施率の向上や健康づくり、地域の活性化、区の文化的魅力の発信につながります。
- 体力や年齢、運動能力や目的など、多様化する区民のスポーツニーズに応え、生涯にわたるスポーツとの関わりが充実します。
- 子どもたちが、オリンピック・パラリンピックの意義を学ぶことを通じて、国際感覚を養い、障がい者への理解を深め、健全な育成に寄与します。

【問合せ先】 地域文化スポーツ部 スポーツ振興課長 井上 敏也 内線3370

事業名 タブレットPCを活用した「あらかわ・スマート・スタディ」の実践

予算額 1, 216万円

【PRポイント】

- 全国に先駆けてタブレットPCを全小・中学校に導入し、一人1台体制で授業を実践
- 29年度からタブレットPCを活かした新たなデジタル教材を導入
- 新たに自ら進んで学習に取り組む環境を整備し、児童・生徒の学習意欲向上に寄与

【目的・内容】

すべての小・中学校に整備されているタブレットPCを活用し、児童・生徒が最新のデジタル教材で学習できる環境を生かして、学力向上に取り組めます。

【効果】

- タブレットPCを活用することで、児童・生徒が知りたいことを主体的に学んだり、意見交換等を通して考えたことを深めたりする学習がより積極的に行えます。
- 自動採点機能のあるデジタル教材を導入し、児童・生徒が自らのペースで学ぶことで、学力の定着につなげることができます。また、学習履歴を教員の個別指導に活かして、児童・生徒一人一人に学習内容を確実に理解させることができるようになります。
- 主体的な学習を通じて、児童・生徒に得られる充実感と達成感の向上が期待できます。

【問合せ先】 教育委員会事務局 指導室長 小山 勉 内線3380